

無知こそ差別の始まり

校長 水戸 巖

国際連合は、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定めています。それを受け日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が、毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）を、「人権週間」と定めており、その期間中、様々な啓発活動を行っています。そして、新潟県教育委員会においても、この期間を「人権教育強調週間」と位置づけ、取組の強化を呼び掛けているところです。

そこで、西中学校では、人権週間・人権教育強調週間に前に、全校集会を開き人権講話を行いました。概要は、以下のとおりです。

野球に詳しい人は、メジャーリーグの大谷翔平選手やダルビッシュ選手の背番号が「42」ではないことを知っていると思います。しかし、（写真を提示して）写真にあるように、大谷選手やダルビッシュ選手が「42」の背番号をつけて出場した試合があります。この日は、4月15日。メジャーリーグでは、「ジャッキー・ロビンソンデー」といい、すべての選手・監督・コーチが背番号42をつけて試合に臨む日です。かつて、メジャーリーグでは黒人に対する人種差別が盛んだったことがあります。その為、黒人選手は「ニグロリーグ」という黒人専用のリーグでプレーせざるを得なかったのです。そのような状況の中、ジャッキー・ロビンソンはその暗黙の了解を破り、ドジャースの一員としてデビューします。選手からも観客からもあからさまな差別を受けたとのことでした。しかしながら、彼の紳士的な態度や野球の実力、周囲の理解者により徐々に周囲に認められるようになり、まずはチーム全体で彼を擁護するようになります。次第にジャッキーに対する差別は減り、その後、メジャーリーグで活躍する黒人選手が増えていく道を切り開いたわけです。彼の背番号「42」番は永久欠番となっており、彼がデビューした4月15日だけは「ジャッキー・ロビンソンデー」として誰もがその番号を着用することが許されているのです。（参考：ベースボールチャンネル等）

では、現在、差別は解消したのでしょうか？（大坂なおみ選手の黒人差別へのアピールの写真を提示して）いいえ、そうではありませんね。新潟県では、私たちの身近にある人権問題として、右をあげています。

学校においても、道徳等で人権について取り上げていきます。みなさんもこの機会に“人権”について考えていこう！ タイトルにある“無知こそ差別の始まり”はある講演会での差別を受けた方の言葉です。次の3つを期待しています。

女性／高齢者／子ども・若者／障がい者／同和問題／外国人／感染症患者等／新潟水俣病被害者／北朝鮮による拉致被害者／犯罪被害者やその家族／刑を終えて出所した人等／性的指向・性自認を理由とする偏見や差別／インターネットによる人権侵害／さまざまな人権問題（アイヌの人、在日韓国・朝鮮の人、ホームレスの人、中国残留邦人などに対する差別や偏見東日本大震災に起因する偏見や差別）

- ① 差別の現実等を正しく知る・理解する。
- ② 自分自身の人権意識・人権感覚は？ 自分の行動を振り返ろう。
- ③ 解消のために自分に何が出来るか。その一歩を踏み出そう。

ぜひ、ご家庭でも人権について話題にしていただければと思います。

世の中の動きに関心を！

チャレンジ！ SDGsクイズ！（一例）

Q：先日、日本は「気候行動ネットワーク」(CAN)という環境団体から気候変動対策に後ろ向きと認められた国が選ばれる“不名誉な賞”を受賞しています。この賞を何といいますか？

Q：次のヒントに当てはまる国はどこ？

ヒント① 2020年のSDGsランキングが世界1位

ヒント② ゴミのリサイクル率が99%

ヒント③ ゴミの分別は100種類

ヒント④ 電力の60%が自然エネルギー

先月、イギリス・グラスゴーで国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が開かれていました。そのせいでしょうか、2つのテレビ局がSDGsについてのキャンペーンをおこなっていました。そこで、校長室前の廊下に左のクイズ（一例です）を掲示してみました。世の中の動きに関心を持ってほしいとの願いからです。

全国学力学習状況調査の結果からも、ニュース等、世の中の動きへの関心の高さや学力は相関があるとの結果がでています。

おおいに楽しみました！ なんでもクラスマッチ

12月3日（金）は、明和会イベントの「なんでもクラスマッチ」を行いました。総務が考えたオリジナルゲーム「マッチ棒ゲーム（Make Something）」「同じものさがし（Find Same）」「フリースロー」「借り人競争」におおいに盛り上がり、楽しみました。そして、西中パフォーマンスでは、アートパフォーマンスやダンス、劇を披露してくれました。西中生のエネルギーを感じるひとときでした。



県教委広報紙『かけはし』(51号)が発行されました

県教育委員会作成の広報紙「かけはし」の51号が発行されました。今年度第2号です。これは、県教育委員会と家庭・地域をつなぐ広報紙として、県教育委員会の取組について広く理解していただくことを目的に発行しているものです。報道等でご存じの方も多いと思いますが、現在、休日部活動の地域移行に向けての準備が進められています。今号には、それについての資料も掲載されています。

昨年度より、電子配信のみとなっていますので、県教育委員会のホームページから、または以下のURLからご覧ください。

ぜひ、ご覧ください

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ご覧ください。